

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	千葉県												
計画の目標	鉄道を高架化し踏切を除却する抜本対策を実施することにより、踏切渋滞、踏切事故を解消し都市交通の円滑化を図るとともに、周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図るものである。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	30,720	A	30,720	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	踏切における踏切渋滞の解消 1日あたりの踏切遮断時間の解消 1日あたりの踏切遮断時間 = 除去対象踏切の1日あたりの遮断時間(実測結果) × 【除去済(0)、未完了(1)】	H30 80h/日	h/日	H34 0h/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	新京成線	連続立体 L=3.3km	鎌ヶ谷市						8,245	1.3	-
	A01-002	街路	一般	千葉県	直接	千葉県	S街路	改築	東武野田線	連続立体 L=2.9km	野田市						22,475	1.2	-
											小計						30,720		
											合計						30,720		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 整備計画担当課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 千葉県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	踏切を除却する抜本対策を実施することにより、踏切渋滞、踏切事故を解消し都市交通の円滑化を図るとともに、周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図ることを目的とした鉄道の高架化は、計画通り推進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	踏切遮断の解消	
	最終 目標値	0h/日
	最終 実績値	0h/日